

特集

学び直しの排便ケア うん、これで完璧! “腸” 役に立つ!

訪問看護において日常的に行われる排便ケア。
しかし「日常的」であるがために、見直しの目が入りづらいところでもあります。
「3日出なかったら下剤を飲む」が当たり前に行われていたり、
一度、排便が計画されると、その必要性が精査されことなく、
訪問のたびに漫然と排便が行われたりする状況もあるのではないのでしょうか。
本特集は、訪問看護と切っても切り離せぬ排便ケアについて学び直す企画です。
「利用者の持っている力を生かした排便ケアを実践する」。
その原点に立ち返るための知識と考え方を示します。

利用者が「気持ちよく出す」ために必要な知識と考え方とは

●榊原千秋

「気持ちよく出す」を叶えた事例集」

①生活に支障をきたすほどの便秘の人

●太田晃子

②疾患により便意・尿意がない人

●寺西優子

③認知症で独居の人

●大久保咲貴/池上曉

※一部変更となることがあります。

編集後記

「人の役に立ちたい気持ち」が持つ底知れぬ力について合点がいったのは、本特集でも萱間先生が紹介する「ストレングスモデル」を知ったときでした。ストレングスというのは強弱における強みのことではなく“本人の気持ちに向かう先としての希望”である、と。精神科の取材時には、なぜかいつも患者さんから「頑張てね」「大丈夫だよ」と応援されたのですが、それは私が心配だという上から目線ではなく(頼りなさそうだったのは事実かも!)、「人を元気づけたい」「役に立ちたい」気持ちだったのかもしれないと感じたのでした。精神科の特集、また企画したいです!……米沢

今回はGAF尺度特集。奥深さを感じ、面白い〜となりました。そんな本企画のきっかけは、今年3月末ごろの小瀬古伸幸さんのTwitterでのつぶやきでした。普段はだらだら〜とタイムラインを眺めているだけですが、時にぐっと胸ぐらをつかんでくるようなつぶやきと出会うことがあります(それこそ、企画化に走ってしまうくらい)。そういうところがSNSの楽しさですよ。なお、『訪問看護と介護』編集室もTwitter、Facebookを密かにやっていますよ(アカウントは下記参照)。皆さんの胸ぐらをつかむようなつぶやきを投じますので、ぜひフォローをお願いします。……小池

訪問看護と介護 第25巻 第9号(通巻291号) 2020年9月15日発行(毎月1回15日発行)

発行:株式会社医学書院 代表者:金原俊

〒113-8719 東京都文京区本郷1-28-23 Published by IGAKU-SHOIN Ltd. 1-28-23 Hongo, Bunkyo-ku, Tokyo-2020, Printed in Japan

1部定価:本体1,500円+税 年間購読料(税抜、送料弊社負担、年間12冊):12,600円(冊子版) / 15,600円(冊子+電子版/個人) / 12,600円(電子版/個人)

販売・PR部: ☎03-3817-5659 社内案内: ☎03-3817-5600

『訪問看護と介護』編集室: ☎03-3817-5787 FAX03-5804-0485 担当: 小池・米沢・伊藤

E-mail houmon@igaku-shoin.co.jp Twitter @houmonkango Facebook @houmonkangotokaiga

医学書院ホームページ <http://www.igaku-shoin.co.jp/> ウェブマガジン『かんかん!』 <http://www.igs-kankan.com>

本誌に掲載された著作物の複製権・翻訳権・上映権・譲渡権・貸与権・公衆送信権(送信可能化権を含む)は(株)医学書院が保有します。

本誌を無断で複製する行為(複写、スキャン、デジタルデータ化など)は、「私的使用のための複製」など著作権法上の限られた例外を除き禁じられています。大学、病院、診療所、企業などにおいて、業務上使用する目的(診療、研究活動含む)で上記の行為を行なうことは、その使用範囲が内部的であっても、私的使用には該当せず、違法です。また私的使用に該当する場合であっても、代行業者等の第三者に依頼して上記の行為を行なうことは違法となります。

JCOPY 出版者著作権管理機構委託出版物

本書の無断複製は著作権法上での例外を除き禁じられています。

複製される場合は、そのつど事前に、出版者著作権管理機構(電話 03-5244-5088, FAX 03-5244-5089, info@jcopy.or.jp)の許諾を得てください。

*『訪問看護と介護』は株式会社医学書院の登録商標です。